

経営比較分析表（令和元年度決算）

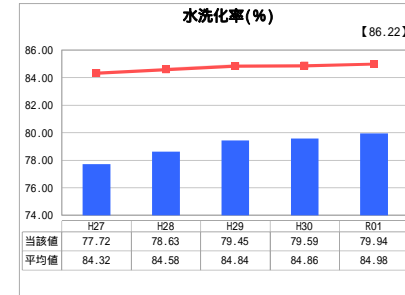
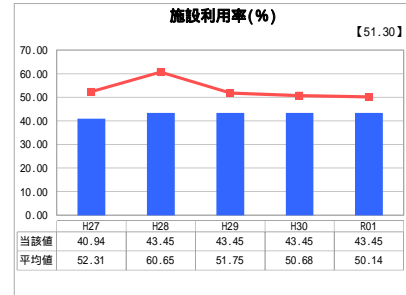
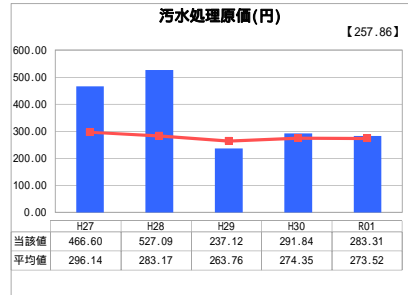
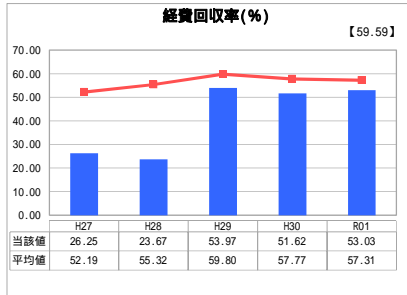
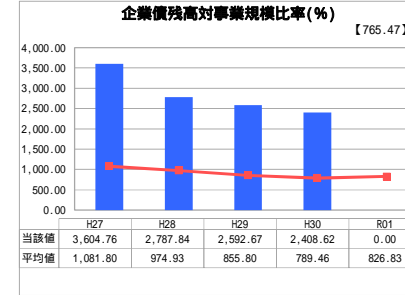
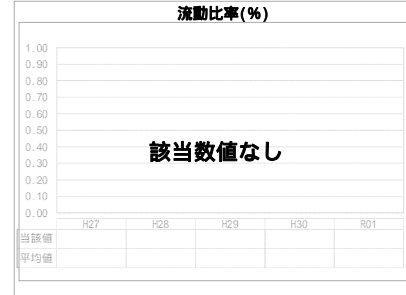
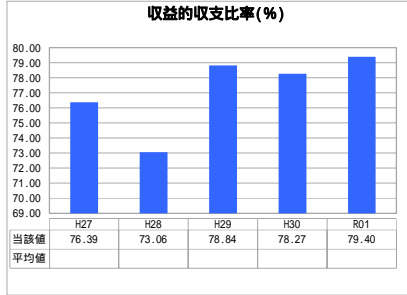
佐賀県 嬉野市

業種名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	23.69	100.00	2,750

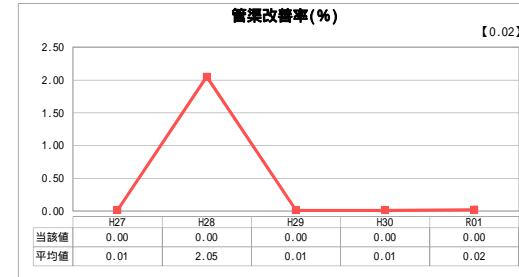
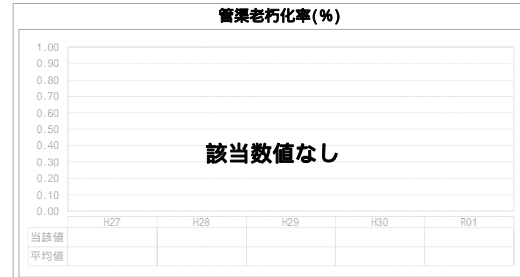
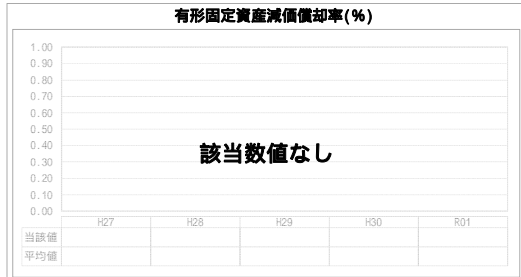
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
25,945	126.41	205.24
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
6,113	2.78	2,198.92

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率
指標は、新規加入者がありR元年度は79.40%となっている。しかし、増加の要因は償還利息の減に伴い総費用が減少したことである。依然として経営収支は赤字である。経営収益については、使用料以外の収入（一般会計繰入金）に依存しているため、料金の見直しも含め経営改善を図っていく。

経費回収率
使用料で回収すべき経費についても、接続戸数が伸びない為、類似団体の平均より著しく低くなっている。料金の見直し、業務の効率化、適正な使用料収入の確保が必要とされる。また、処理施設の老朽化により設備の更新費用が年々増加し汚水維持管理費が増加するため、計画的な設備投資が必要である。

汚水処理原価
汚水処理に要した費用については、接続戸数が伸びない為、類似団体より高く推移しており、施設の効率化を高めることが必要とされる。また、処理施設の老朽化により設備の更新費用が年々増加し汚水維持管理費が増加するため、計画的な設備投資が必要である。

施設利用率
指標は、接続戸数が伸びない為、類似平均より低く推移している。施設の効率を高めていくための検討が必要である。また、処理施設の老朽化により設備の更新費用が年々増加し汚水維持管理費が増加するため、計画的な設備投資が必要である。

水洗化率
指標は、接続戸数が伸びない為、平均値を下回っている。今後も普及拡大に向けた広報等を行う。

2. 老朽化の状況について

平成9年に整備を行っており、管渠等の老朽化はまだ深刻な状況には至っていない。

全体総括

現在、農業集落排水（個別処理を含む）と公共下水道等の料金体系が異なるため、料金体系を統一する予定である。（R3.4月から）同時に、今後の適正な使用料の収入の確保、汚水処理費の削減等により、経営の改善を見込む。

また、接続戸数が伸びない要因は、年金収入の高齢者世帯が多いので、接続経費が高いため接続できていない状況である。加入促進の広報しても限界がある。